

カロム盤のサイズは縦横とも約40cm。昭和30年代頃は約90cmのサイズが主流だったとか



巻頭特集 100年以上も遊び継がれるボードゲーム

奥深きカロムの愉しみ

◎ カロムの遊び方

- プレーヤーは2人もしくは4人。4人の場合は2人ずつペアを組みます。
- ストライカーと呼ばれる木製バックをはじき、ストライカーの線と同じ色のバックを、盤上の四隅にあるポケットに入れていきます。
- 自分の色のバックをポケットに入れた場合は成功。続けて打つ権利が与えられます。
- 自分の色のバックをすべてポケットに入れた後、最後にジャックを入れた方が勝ちとなります。
- カロム日本選手権大会では、制限時間内にゲームが終わらなかった場合は、盤上に残っているバックの数で勝敗を決定します。



わがまちでは、一家に一台ともいわれるカロム盤。

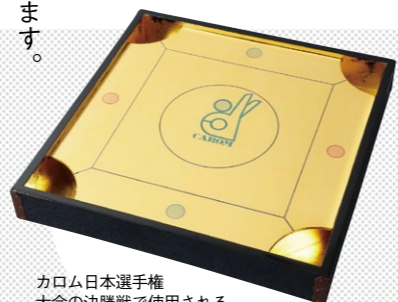
友達や親戚が集えば、盤を囲むのが当たり前……と思いきや、

カロムがここまで普及したのは

彦根市だけという事実をご存知でしょうか。

彦根青年会議所と地域の愛好家が構成する日本カロム協会は、

彦根市独自の文化になりつつあるカロムを、守り伝えるべく活動しています。



カロム日本選手権大会の決勝戦で使用される、漆と金箔で仕上げた黄金のカロム盤



上) 今月号の表紙に登場してくれた大塚多聞くん(左)と堤駿太郎くん(右)。大須賀さんのレクチャーを得て、カロムの腕も少し上達。右) 昨年のカロム日本選手権大会。シングルスとダブルスの2部門に、延べ660人が参加しました。左) 部門別の上位戦では、漆塗りのカロム盤も登場。彦根仏壇の技術で作られています

12〜13世紀に誕生し世界に伝播したゲーム

指で木製のストライカーをはじき、盤上の四隅のポケットに木製バックを入れていくボードゲーム、カロム。彦根市では知らない人がいないといわれるほどメジャーなゲームです。

カロムの原型が成立したのは、12〜13世紀頃。その歴史については定かではありませんが、エジプトまたはインドが発祥の地だといわれています。何世紀もかけて世界中に広がり、イギリスに伝わった際には、ビリヤードの発展に深く関わったという説も。現在では、アメリカのキャロム、カナダのクロッキン・クール、中国の康楽棋(カーロンチュウ)、イエメンのカエラム、ミャンマーのブルームイスカロムなど、世界の各地でカロムをルーツとするボードゲームが定着しています。

日本に伝わったとされるのは、明治時代の末期から大正時代の初期にかけて。伝播については諸説あり、キリスト教の宣教師が持ち込んだ、建築家ウィリアム・メレル・ヴォーリズがアメリカから持ち込んだなど、多くの由来が残っています。

「昭和30年代には、闘球盤や投球盤といった名称で全国に広がっていました」と話すのは、日本カロム協会事務局の事務局長を務める大須賀貴幸さん。「私にとって

も、カロム盤は物心ついた頃から身近な存在。お正月には、親戚一同でよく遊んでいました」と振り返ります。

彦根市内には大正時代のカロム盤が現存します。現在は、彦根市河原にあるひこね街の駅「通信舎」で大切に保存されています。

日本カロム協会の設立と普及に向けた取り組み

彦根市でカロムの普及に大きな役割を果たしたのは、彦根青年会議所(JC彦根)の皆さんです。昭和62年、カロムを通して彦根の魅力を発信しようと、カロム普及拡大推進委員会を設立します。市内でカロム日本一を決める、カロム日本選手権大会を開催するようにしました。

後に、「大会の数を増やしてほしい」「もっと交流の場がほしい」といった愛好家の声を受けて、新たな団体の設立を計画します。平成10年、彦根青年会議所と市内の愛好家を中心となり、会員約50人からなる日本カロム協会を設立したのです。

現在、日本カロム協会の会員数は80人ほど。毎年6月の第3日曜日に開催されるカロム日本選手権大会の運営に協力しているほか、年に5回のペースで、会員だけが参加できるトーナメント戦の定例競技会を主催しています。その結果に基づき、各選手の累積獲得ポイントに応じてレートを定め、ラン

キングを発表します。協会は、カロムに関するウェブサイト運営のほか、カロム盤の通信販売、会報誌『カロム倶楽部』発行などの活動を展開しています。

「近年は市外においての活動にも力を入れています」と大須賀さん。10年ほど前から京都府や岐阜県で愛好会が発足するほか、平成23年には東日本大震災の被災地支援の一環として、カロムを使った交流がありました。

昨年は、神奈川県が計画したプラスチック製「スパーカロム」の開発に協力。現在は関東地方でも不定期の会合が開かれるようになっていきました。

6月には日本選手権を開催！カロムの人気を全国へ

今年のカロム日本選手権大会は、6月22日にパナソニック彦根工場体育館(彦根市岡町)で開催予定

滋賀県を中心に、全国各地から愛好家が集結します。午前にはダブルス戦、午後にはシングル戦を実施するほか、新企画のカロム×クイズを始め、カロム5盤勝負やマイストライカー工房など、楽しいイベントを開催します。

「カロムは、お爺ちゃんや孫でも簡単に遊べます。初心者にも優しいゲームでありながら、知れば知るほど奥深さに気付くのがカロムの魅力です」と大須賀さん。近年は市外の愛好家が増えていることもあり、「この流れに乗って、カロムの人気を再び日本全国に広げていきたい」と前を見据えます。

素朴で単純明快な遊びだからこそ、人と人とのコミュニケーションが生まれるカロム。日本選手権大会は、誰でも気軽に観戦できます。会場に足を運び、手に汗握る熱戦に声援を送ってはいかがでしょうか。

ストライカーをはじくときは、爪をくっつけて打つと指が痛くなりませんよ

日本カロム協会事務局 事務局長 大須賀 貴幸さん

● INFORMATION ●

日本カロム協会

〈所在地〉彦根市中央町3-8 商工会議所ビル3階 (彦根青年会議所内)

〈電話〉0749-22-7522

〈公式サイト〉www.biwako.ne.jp/~carom/

カロム盤の購入は公式サイトをチェック!

第32回カロム日本選手権大会

〈日時〉6月22日(土)10時~(開場は9時)

〈場所〉パナソニック株式会社アプライアンス社彦根工場体育館(彦根市岡町33)

〈入場〉無料

〈主催〉彦根青年会議所